

《第80回》令和元年十一月の作品

〈十一月八日（金）於・文京区民センター3B〉

登高や海辺の町を一望す

（隆治）

長き夜のしじまを破る犬の声

（平六）

まがき  
籬よりバツハ聴こゆる小春かな

（前歩）

鰯雲海より空の果てしなき

（孝昭）

山の湯の力いただく豊の秋

（清助）

とばり  
帳あき即位宣明秋の虹

（正佳）

秋の暮跡形も無き首里の城

（正雄）

一茶忌や母の歌ひし童謡 わらべうた

（芙沙）

秋晴や庭師のやうに枝を伐り

（貴美）

ひとり居の夜をひたすらに鉦叩

（一江）

水害に負けるな友よ稲穂刈る

（奉男）